

災害発生時の医療救護体制

～助かるいのちを確実に助けるために～



大規模災害により、多数の負傷者が発生



自主防災隊・消防団・消防本部による搬送

重症患者
中等症患者
軽症患者

重症患者
中等症患者



【救護所（市内7箇所）】

医師会・歯科医師会・薬剤師会など医療従事者の協力により運営

※震度6弱以上で医療従事者は救護所に自動参集（市職員は震度4以上）

- ①袋井南救護所（高南小）
- ②袋井西救護所（袋井西小）
- ③袋井北救護所（袋井北小）
- ④袋井東救護所（袋井東小）
- ⑤山梨救護所（山名コミュニティセンター）
- ⑥浅羽北救護所（浅羽北コミュニティセンター）
- ⑦浅羽南救護所（浅羽南小）

トリアージ、重症患者・中等症患者に対する応急処置
軽症患者に対する処置

自主防災隊・消防団・消防本部
による搬送

重症患者・救護所で
対応できない中等症患者



【救護病院（兼災害拠点病院）】 中東遠総合医療センター

トリアージ、救護所で対応できない
重症患者・中等症患者に対する処置・収容

救護病院で処置・収容
できない重症患者

大型ヘリコプター・航空機
による広域医療搬送

被災地以外の病院



裏面に続きます

◆トリアージとは…

医療従事者や医薬品など、限られた医療資源を最大限に活用し、1人でも多くの命を救うために行う「重症度と緊急度を分類し、治療と搬送の優先順位を決める作業」のこと。

右の「トリアージ・タグ」を使って実施する。

なお、トリアージには一次(ふるい分け)と、より医学的な見地(生理学的・解剖学的評価)に基づいた二次(順位付け)がある。

[トリアージ・タグ]

◆トリアージの区分

優先度	分類	識別色	状態	傷病の例
第1位	重症患者 (最優先治療群)	赤	生命を救うため、直ちに処置を必要とするもの(救命可能なもの)	窒息、クラッシャー症候群、大量出血、ショック、広範囲熱傷、多発外傷など
第2位	中等症患者 (非緊急治療群)	黄	多少治療の時間が遅れても、生命に危険がないもの	脊髄損傷、多発骨折、中等度熱傷など
第3位	軽症患者 (軽症群)	緑	上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としないもの	小骨折、脱臼、打撲、挫創、切創、軽度熱傷など
第4位	死亡・救命不可 (不処置群・死亡群)	黒	既に死亡している者または直ちに処置を行っても明らかに救命が不可能なもの	遺体(生命兆候が無いもの)、生命を救える見込みがない絶対予後不良者

◆医療救護施設の種類

区分 [本市の対応施設]	指定 権者	主な機能・役割
救護所 [市内7公共施設]	市	トリアージ、重症患者・中等症患者に対する応急処置、軽症患者に対する処置など
救護病院 [中東遠総合医療センター]	市	トリアージ、重症患者・中等症患者に対する処置、重症患者の広域医療搬送対応(救護病院と災害拠点病院が異なる場合は災害拠点病院への搬送対応)など
災害拠点病院 [同上]	県	トリアージ、重症患者(中等症患者)に対する処置、重症患者の広域医療搬送対応、DMAT※派遣、DMAT等医療チーム受入など

※DMATとは…

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのこと。「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとって「DMAT」と呼ばれており、メンバーは医師、看護師、業務調整員(事務職員等)で構成される。